

目的:専修学校における自己評価表を用いて、本校の組織的・継続的な教育活動等の改善を図る

目標:1. 評価項目から、評価の視点が分かる

2. 自己の教育活動を振り返る

3. 改善点が見いだされ、今後の教育活動に活かすことができる

評価期間 令和5年4月～令和6年2月

実施者 3年課程教員9名、事務2名(菊地、渡邊) 計 11名

方法 1. 説明 令和6年2月の教務会にて

2. 配布 令和6年2月の教務会にて

3. 回収 令和6年3月1日(金)～4日(月)の間に 浅野事務課長に提出

4. 結果 令和6年4月職員会で、結果を公表する

評価基準 4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

いずれかに○をつけ、備考欄に回答の理由をお書きください。特に、不適切と回答された

方には、今後の改善点の検討の資料となりますので、必ずお書きください。

I. 教育理念・目標

評価項目		区分	4	3	2	1	集計	備考	課題	改善策	学校関係者評価
1	I-1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	教員	5	3	1	0	3.44		・行われてきているが、浸透して いないのではないか。	・学校として学生の家族には、教育に対してご理解と関心を持っていただき、協力して学生を育てたいと考えている。入学生の年齢が圧倒的に18歳が多くなっていることから、家族との関わりを多く持つていくことが必要である。	理念・目的・目標は折に触れて説明をし、実体験で学んでいく必要がある。実習後のタイミング等でアンケートを行うと自身の現状と比較でき、理念や目標に対する意識が変わるのではないかと、18歳の学生が増えていることから、家族や保護者への説明も重要となる。保護者会での説明やアンケートによる理解度の確認も必要と考える。また、各教科担当や外部講師との丁寧なすり合わせが必要と考える。
		事務	2	0	0	0	4.00				
2	I-2 学校における職業教育の特色は明確になっているか	教員	4	5	0	0	3.44		・入学時に説明会を行ってはい が、保護者と関わる機会が少な いので周知されにくい	・教育理念・目的・目標は入学式後の説明会で説明しているが、どの程度理解されているかは把握していない。1度だけの説明では理解しきれないことが多くあることも予測できる。そのため、今年度はナーシングセレモニーのタイミングで保護者会を行い、学習進度や学校生活についての説明、実習への協力依頼など保護者会を実施する。また、アンケート調査を行い、理解度の確認、要望や質問事項を伺うなど双方向性を持つていく。	
		事務	2	0	0	0	4.00				
3	I-3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱えているか	教員	3	5	1	0	3.22	●将来構想を抱えているか分からない	・入学時、半年後などの定期的な 学生・保護者への質疑の時間や 理解度の確認がなされていない	・学生便覧には載っているが、はたして保護者は見て理解しているか疑問	
		事務	1	1	0	0	3.50				
4	I-4 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	教員	1	5	3	0	2.78	●よく分からない			
		事務	1	1	0	0	3.50				
5	I-5 各学科の教育目標、人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	教員	2	5	2	0	3.00			新しい教員が増えているため、教育理念・目的・目標の共有化を丁寧にしていく。	
		事務	1	1	0	0	3.50				
集計		教員	15	23	7	0	3.18				
		事務	7	3	0	0	3.70				

II. 学校運営

評価項目		区分	4	3	2	1	集計	備考	課題	改善策	学校関係者評価
6	II-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	教員	1	6	2	0	2.89	●時々、目的が見えないことあり	・学校運営に関するシステムの浸透 が薄い	・意思決定システムについては独立した規定関係を読まなければ把握が難しい状況である。フローチャートなどを作成し今後可視化していく。決定事項の説明不足があったことも否めないため、積極的に決定事項を発信していく。	意思決定システムに必要な組織図が見当たらない。事案を誰がどのように最終決定し、だれの責任のもと決定するのかを表示する必要がある。意思決定システムは毎年課題となっている。
		事務	1	1	0	0	3.50				
7	II-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	教員	2	6	1	0	3.11		・用語が難しく、意味の共通理解が されていないのではないか	・教務会で決定したことが他部門に伝わっていなかったこともあり、部門ごとの決定事項の共有化を進める。	業務の効率化については意見交換の場等を設け、進めていく必要がある。業務改善の視点も必要である。
		事務	1	1	0	0	3.50				
8	II-3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	教員	1	4	4	0	2.67		・意思決定システムやコンプライア ンスに関する用語の共通理解や 学校運営に関する考え方の共有 が不十分である	・ホームページでの情報公開は、広報活動とも連携し、公開の頻度を増やしていく。今年度は毎月1回は掲載予定。 ・情報システム化については、検討に入っており、進めていく。	情報公開については18歳に合わせた情報の発信が必要。動画やInstagramの活用が望まれる。現代はタイパ重視で10秒で内容がわかる工夫が必要と言われている。ホームページの改善もあわせて行う必要がある。
		事務	1	1	0	0	3.50				
9	II-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	教員	4	4	1	0	3.33				
		事務	2	0	0	0	4.00				
10	II-5 教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	教員	1	5	3	0	2.78	●意思決定システムとは？			
		事務	1	1	0	0	3.50				
11	II-6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	教員	1	4	4	0	2.67	●整備されているのかよく分からない			
		事務	0	1	1	0	2.50				

12	II-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	教員	1	5	3	0	2.78	●ホームページに載せてはいるがかなり少ない		
			事務	1	1	0	0	3.50			
13	II-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	教員	2	5	2	0	3.00	●欠席・欠課届に関して効率化が進んでいない		
			事務	0	0	2	0	2.00			
集計			教員	13	39	20	0	2.90			
			事務	7	6	3	0	3.25			

Ⅲ. 教育活動

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価	
14	III-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	教員	1	6	2	0	2.89		・実際に行っていることが浸透 されていない部分がある	・教育評価については、長期ループリックの導入や、昨年度より試行的に授業評価、各領域担当教員による演習や実習の評価などを実施している。評価基準の見直しを適宜行うことと、改善点を明確にしていく。 ・教職員の指導力育成・資質向上については、研修会の参加に加え、教育目標等の共有が必要と考える。また、新入職員への支援体制を構築するとともに、計画的に次世代職員へ世代交代していけるよう人材の育成と、採用が必要である。	共通した授業評価項目の活用が必要である。外部講師への評価も必要と考える。評価をするときには評価項目に対する共通理解ができていないと信頼性が損なわれるので十分な理解が必要。
			事務	2	0	0	0	4.00				
15	III-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修行年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	教員	2	5	2	0	3.00	●長期ループリックの内容が評価しにくいと感じる	・日々の業務に精一杯で教員の 資質の向上が課題		講師によっては、授業内容が不適切な場合がある。授業づくりに対して支援が必要と思われる。ある一定以上の教育を受けなければ学生にとって不利益である。
			事務	1	1	0	0	3.50				
16	III-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	教員	2	5	2	0	3.00		・項目18、20、21、24、25、26、 27において半数近くがやや不適切		項目12、13に対して教員の確保が課題と考える。
			事務	1	1	0	0	3.50				
17	III-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	教員	2	6	1	0	3.11	●(学生の特徴を考えると)キャリア教育の視点、工夫が更に必要と感じるため	とらえていることから教育活動 における評価やマネジメントの		
			事務	1	1	0	0	3.50				
18	III-5	関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	教員	1	4	4	0	2.67	●連携していたのか疑問	実施に課題がある	・課程変更での組織構成員や教育	
			事務	1	1	0	0	3.50				
19	III-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	教員	1	6	1	1	2.78	●よく分からない	活動の変化の時期に直面し、各自 がどうしていくべきかゴールが		
			事務	1	1	0	0	3.50				
20	III-8	授業評価の実施・評価体制はあるか	教員	1	4	4	0	2.67	●よく分からない	設定が不明確	・キャリア教育の視点や工夫への不 十分さ	
			事務	1	1	0	0	3.50				
21	III-9	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	教員	1	4	4	0	2.67	●よく分からない	教員が定着しないという認識が組織		
			事務	0	2	0	0	3.00				
22	III-10	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	教員	5	4	0	0	3.56		風土に与える影響	・指導力育成・資質向上の取り組み	
			事務	2	0	0	0	4.00				
23	III-11	資格取得に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	教員	1	7	1	0	3.00		が不十分であること		
			事務	1	1	0	0	3.50				
24	III-12	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	教員	2	3	4	0	2.78	●教員が定着しないことは大きな問題と感じる			
			事務	0	2	0	0	3.00				
25	III-13	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	教員	2	2	5	0	2.67	●現状はHP上の一般募集での確保になっている			
			事務	1	0	1	0	3.00				
26	III-14	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	教員	1	3	5	0	2.56	●研修に関しては整っているが、指導力育成・資質向上の取り組みは不十分と感じる ●研修回数をもっと増やしても良いと思う			
			事務	0	1	1	0	2.50				
27	III-15	職員の能力開発のための研修等が行われているか	教員	2	3	4	0	2.78	●行きたい研修にはほぼ参加できた			
			事務	0	1	1	0	2.50				
集計			教員	24	62	39	1	2.87				
			事務	12	13	3	0	3.32				

IV. 学修成果

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
28	IV-1 就職率の向上が図られているか	教員					#####	●卒業生を出していないので評価できない	・就職率の向上・資格取得率の向上 退学率の低減が可能になるシステムづくりが今後必要となる。	・3年課程への移行2年目であり、評価できるものがない。ただし、卒業生の活躍や評価の把握は2年課程から課題となっているため、今後は実習病院などと連携し、体系的に進めていく必要がある。 ・同窓会との連携も進めていく。	卒業生の集い等を設け、卒業生と学校のつながりを持っておくことが重要。同窓会活動の活発化も重要である。 卒業生が出る前に評価のシステムづくりが必要。 就職先の傾向や卒業生がどのように活躍しているか知りたい。
		事務					#####				
29	IV-2 資格取得率の向上が図られているか	教員					#####	●卒業生を出していないので評価できない			
		事務					#####				
30	IV-3 退学率の低減が図られているか	教員	2	6	1	0	3.11				
		事務	0	2	0	0	3.00				
31	IV-4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	教員	1	3	3	1	2.50	●把握するシステムはないため ●卒業生を出していないので評価できない ●評価が見えない			
		事務	0	1	1	0	2.50				
32	IV-5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	教員					#####	●卒業後の情報を把握するシステムはないため ●卒業生を出していないので評価できない			
		事務					#####				
集計		教員	3	9	4	1	2.82		* IV-1, 2, 5は評価から除外		
		事務	0	3	1	0	2.75				

V. 学生支援

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
33	V-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	教員	2	5	2	0	3.00	●これから整備されると思う	・新入生を迎えたばかりであるが キャリア教育が課題 ・課外活動に関する考え方、保護者との関わり方が不明確 ・当校における課外活動の必要性と支援体制の不足	・キャリア教育に関しては、業者の活用、2年課程でのキャリア教育の踏襲など行っているが、学生の就職状況やニーズを踏まえながら、引き続き検討、実施していく。	入学生はコロナ禍の中で学生生活を送ってきたので社会にでて適応できるような支援がほしい。 学校には関係箇所とのネットワークづくりを希望する。
		事務	2	0	0	0	4.00				
34	V-2 学生相談に関する体制は整備されているか	教員	3	6	0	0	3.33				
		事務	2	0	0	0	4.00				
35	V-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	教員	3	6	0	0	3.33				
		事務	1	1	0	0	3.50				
36	V-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	教員	4	5	0	0	3.44				
		事務	0	1	1	0	2.50				
37	V-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	教員	1	4	4	0	2.67	●課外活動の支援体制はないため			
		事務	0	1	1	0	2.50				
38	V-6 学生の生活環境への支援は行われているか	教員	2	6	1	0	3.11				
		事務	0	1	1	0	2.50				
39	V-7 保護者と適切に連携しているか	教員	1	6	2	0	2.89				
		事務	0	1	1	0	2.50				
40	V-8 卒業生への支援体制はあるか	教員					#####	●卒業生を出していないので評価できない			
		事務					#####				
41	V-9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	教員	1	5	3	0	2.78				
		事務	1	1	0	0	3.50				
42	V-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	教員	1	3	4	1	2.44	●連携は行っていない			
		事務	0	2	0	0	3.00				
集計		教員	18	46	16	1	3.00		* V-8は評価から除外		
		事務	6	8	4	0	3.11				

VI. 教育環境

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
43	VI-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	教員	1	6	2	0	2.89		・3年課程がスタートし、整備されていない部分がある	・必要に応じて実施してきているが、今後も整備を続けていく。	必要な対応はできている。特に問題ないとする。
		事務	0	2	0	0	3.00				
44	VI-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	教員	0	7	2	0	2.78	●実習施設は評価できる			
		事務	0	1	1	0	2.50				
45	VI-3 防災に対する体制は整備されているか	教員	4	5	0	0	3.44				
		事務	2	0	0	0	4.00				
集計		教員	5	18	4	0	3.04				
		事務	2	3	1	0	3.17				

VII. 学生の受け入れ募集

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
46	VII-1 学生募集活動は、適正に行われているか	教員	5	4	0	0	3.56		・特になし	学生募集活動は広報委員会を立ち上げ、取り組んでいるところである。	概ね適切。 ホームページの充実を期待する。
		事務	2	0	0	0	4.00				
47	VII-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	教員	2	6	1	0	3.11				
		事務	1	1	0	0	3.50				
48	VII-3 学納金は妥当なものとなっているか	教員	5	4	0	0	3.56				
		事務	1	1	0	0	3.50				
集計		教員	12	14	1	0	3.41				
		事務	4	2	0	0	3.67				

VIII. 財務

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
49	VIII-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	教員	2	4	3	0	2.89		・特になし	・安定的な経営のためには、入学生の確保が重要である。様々な取組みをしている。	4の財務情報の公開についてわからないと答えている居員がいることが気になった。財務状況の公開は行っているのか。
		事務	1	1	0	0	3.50				
50	VIII-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	教員	3	4	2	0	3.11				
		事務	1	1	0	0	3.50				
51	VIII-3 財務について会計監査が適正に行われているか	教員	4	5	0	0	3.44				
		事務	2	0	0	0	4.00				
52	VIII-4 財務情報公開の体制整備はできているか	教員	2	6	0	1	3.00	●分からない			
		事務	1	1	0	0	3.50				
集計		教員	11	19	5	1	3.11				
		事務	5	3	0	0	3.63				

IX. 法令等の遵守

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
53	IX-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	教員	5	4	0	0	3.56		・授業評価・自己評価が本人にまかされていることで、全体としての成長が見えにくい	・法令通りに運営している。 ・自己評価についてはガイドラインの確認など、周知をしていく。	ハラスメントの関する規程、SNSの制限等の整備が必要 項目3、4にわからないと答えている教員がいることが問題。わからないままにさせない運用が必要。
		事務	1	1	0	0	3.50				
54	IX-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	教員	6	1	2	0	3.44				
		事務	1	1	0	0	3.50				
55	IX-3 自己評価の実績と問題点の改善を行っているか	教員	2	1	5	1	2.44	●解釈が難しい問題もあるため ●分からない			
		事務	0	2	0	0	3.00				
56	IX-4 自己評価結果を公開しているか	教員	4	2	2	1	3.00	●分からない			
		事務	2	0	0	0	4.00				
集計		教員	17	8	9	2	3.11				
		事務	4	4	0	0	3.50				

X. 社会貢献・地域貢献

評価項目			4	3	2	1		備考	課題	改善策	学校関係者評価
57	X-1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	教員	1	4	3	1	2.56		・ボランティア活動は学校として支援していない	・地域との連携は強めていく必要がある。具体的内容については今後検討していく。 ・ボランティア活動は、地域との連携の中で進めていきたいと考えている。	課外活動で健康についての考えを聞いた り、地域の高齢者とのふれあいで高齢者の特徴を学んだりすることで学習が深まると考える。
		事務	0	1	1	0	2.50				
58	X-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	教員	1	0	6	2	2.00	●支援は行われていない ●ボランティアは各自で行わせている ●学生ボランティアへの支援の実績はないため	・環境が整っていない		
		事務	0	1	0	1	2.00				
59	X-3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等含む)の受託等を積極的に実施しているか	教員	1	0	6	2	2.00	●実施していない			
		事務	0	1	0	1	2.00				
集計		教員	3	4	15	5	2.19				
		事務	0	3	1	2	2.17				